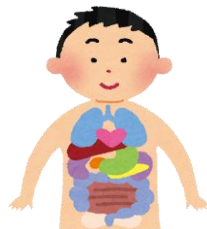


## 超音波検査とは

人の耳に聞こえない高い音（超音波）を体内に送り、そのはね返ってきた音波から画像を作り表示します。皮膚表面にゼリーを塗り、超音波を送受信する器具を当てて検査します。

## 超音波検査で分かること



### 腹部超音波検査

主に、肝臓、胆のう、すい臓、腎臓、ひ臓などお腹の中の臓器を調べます。それぞれの臓器の大きさや性状、腫瘍や結石の有無などがわかります。

### 心臓超音波検査

心臓の動きや大きさ、弁の状態などを調べます。心拡大（心臓が大きくなる）、心肥大（心臓の壁が厚くなる）、弁膜症（弁が開きにくくなったり、閉まりにくくなったりする）、狭心症や心筋梗塞で心臓の動きが悪くなっているところがわかります。

### 頸動脈超音波検査

脳に血液を送る重要な動脈である頸動脈（首の血管）を調べる検査です。頸動脈のプラーク（血管壁に付着する脂汚れ）の有無や程度、脳梗塞の原因となる血栓（血の塊）がないかなどを調べます。

## 超音波検査のあれこれ Q&A よくある質問にお答えします

### Q：被曝の心配はありませんか？

A：X線撮影やCT検査のように放射線による被曝の心配がありません。妊娠中の方や乳幼児でも安心して受けることができ、繰り返し検査が可能です。

### Q：検査は痛いですか？

A：検査中、多少器具で押さえることはありますが、基本的に痛みはありません。

### Q：ゼリーは何のために使うのですか？

A：皮膚と音波を出す機器とのすき間をなくして、超音波の通りをよくするためです。

### Q：検査した臓器とは別の部位もみてもらいたい？

A：それぞれの検査では、目的とする臓器に合わせて、機器を調整しています。別の部位の検査を希望する場合は、主治医にご相談下さい。

